

ニュースリリース

AI を活用した法人向け省エネルギーサービス Ennet eye を提供開始

株式会社エネット（本社：東京都港区、代表取締役社長：武田 勉、以下「エネット」）と、COzero Holdings Ltd（本社：ニューサウスウェールズ州シドニー、オーストラリア、CEO：Geoffrey Alexander、以下「COzero」）は、スマートメータからの電力データ・気象情報を AI(人工知能)により解析し、お客さまの省エネをサポートする新たなサービス Ennet eye を7月3日より提供開始いたします。

電力自由化に際し、全国に大量のスマートメータが導入され膨大なエネルギーデータの流通が始まりつつあります。政府の長期エネルギー需給見通しでは 2030 年に 17%の省エネが組み込まれており、企業に対しては引き続き省エネの推進が求められます。

エネットはスマートメータを活用し、電気使用量の見える化・デマンドレスポンスなど、節電に役立つ情報・サービスを常に他社に先駆けご提供して参りました。新たなサービス、Ennet eye ではスマートメータからの電力データだけでなく、気象情報・建物情報を収集し、膨大な情報を高速・大規模に処理。AI が昼夜を問わずお客さまのビルの課題や省エネ対策をご報告いたします。

従来の省エネサービスと異なり、エネットがお客さまのビルに伺うことはなく、新たな設備投資も必要ありません。データ解析は 30 分ごとに繰り返され、早朝や夜間、休日などお客さまで把握が難しい時間帯の問題点を即座に検出できる他、各プロセスを自動化することで、即時性・継続性・経済性・展開性に優れたサービスとなっています。サービスをご利用頂くことで運用面の施策により最大 5-10%の省エネが可能となります。

7月3日よりエネットとご契約のお客さま向けにサービス提供を開始し、3年後に 3000 件のお客さまへの提供を目指します。大量のエネルギー情報が流通する新たな時代にエネットは Ennet eye のご提供を通じ、お客さまの企業単位の省エネ・環境負荷低減を強力にサポート致します。

サービス概要

[サービスイメージ]



スマートメーターデータと
ビル近隣の気象情報を自動収集

集約した情報を
独自のアルゴリズムで分析

ビル運用の問題点や
省エネ方法をお客さまにお届け

[レポートの例]



夜間の電気の消し忘れや、設備運用時間の長時間化など、Ennet eye が課題を検出し、対象ビル・時間・電気代への影響・対策などをまとめてお客さまにお届けいたします。

[画面イメージ]



Ennet eye では省エネ対策のご報告の他、省エネに役立つ各種データをご確認可能です。

提供時期 : 7月3日よりご希望のお客さまに対して順次ご提供スタート
提供対象 : 高圧電力以上でご契約の法人のお客さま
提供目標 : 3年後 3000件
サービス内容 : スマートメータからの電力データ・気象情報を活用した AI による省エネサポート

特徴 :

- ① 即時性 個別にビルに伺うことなく、全てのビルを遠隔で即時分析
機器導入などは必要なく、図面等の提出も不要。手間をかけずにすぐにご利用可能
- ② 継続性 24時間365日継続的に全てのビルの状況をチェックし、時間帯・季節を問わず課題を見逃しません。対応状況もモニタリングし、一度解消した問題点の再発を防止します。
- ③ 経済性 各プロセスを自動化することでコストを最小化
運用面の改善など、初期費用をかけない省エネを優先的にご提案します。
- ④ 展開性 保有する全てのビルを一元的に管理・省エネを推進

お問い合わせ先

株式会社エネット 経営企画部 五郎丸 高岡

TEL:03-6435-6645 e-mail: enneteye@ennet.co.jp